

第2学年A組 道徳学習指導案

期 日 令和元年10月11日 第5校時

生徒数 男子12名 女子14名 計26名

指導者 教諭 瀬川 貴美子

1 主題名 いのちを考える（2） 指導内容：生命の尊さ（D-19）

2 教材 「三つのいのちについて考える」（出典：「新しい道徳2」東京書籍）

3 主題設定の理由

（1）道徳的価値について

生命を尊ぶことは、かけがえのない生命をいとおしみ、自らもまた多くの生命によって生かされていることに素直に応えようとする心の現れと言える。近年、生徒の生活様式も変化し、自然や人間との関わりが希薄さから、生命あるものとの接触が少なくなり、生命の尊さについて考える機会を失いつつある。身近な人の死に接したり、人間の生命の有限さやかけがえのなさに心を揺り動かされたりする経験をもつことも少なくなっている。このことが、生命軽視の軽はずみな言動につながり、いじめなどの社会的な問題となることもある。生命のもつ侵し難い尊さが認識されることにより、生命はかけがえのない大切なものであって、決して軽々しく扱われてはならないとする態度が育まれる。また、生きていることの有り難さに深く思いを寄せることから、自己以外のあらゆる生命の尊さへの理解につながるよう指導することが求められる。

（2）生徒の実態について

週1時間の道徳の授業を前向きに捉えている生徒が多い。道徳意識調査では、約8割の生徒が道徳の勉強は好きだと答えている。さらに、道徳の授業では、自分の考えを伝えたり、ほかの人の考えを聞いたりしながら、自分のこと（生き方）についてよく考えていると思っている生徒も約8割いる。

3時間かけ、ユニット扱いで学習してきた「生命の尊さ」について、「有限性」「連続性」「偶然性」の三つの視点から考えさせたい。さまざまな考え方を互いに共有することで、生命の尊さを深く理解し、かけがえのない生命を大切にしていこうとする態度を育てたい。

（3）教材について

本指導内容は、3時間を通して1つのテーマで授業を行うユニットとなっている。「三つのいのちについて考える」はユニットの3時間目である。ここでは、「奇跡の一週間」や「妹に」の学習も踏まえて、「三つのいのち」についてAさんからFさんまでの意見が掲載されている。この6人の意見を手がかりに自分の意見を書き、その意見をもとにグループで意見交換をすることで生命の尊さについて考えを深めさせたい。

（4）指導にあたって

教材のAさんからFさん6人の意見を参考にして、「三つのいのち」について各自の意見を書かせる。次に、小グループになって、各自が書いた内容をお互いに交流しながら意見交換を行わせる。その際、友達の意見の要旨をメモ書きさせる（まなボードの使用）。さらに、話し合いを通して得た友人の意見や教科書の6人の意見を参考にして、だれの、どんな意見に、どのようなことを気づいたかをまとめさせる。最後に、「奇跡の一週間」や「妹に」の授業での自分の感想なども参考に「いのちを考える」3時間の授業を通して学んだことをまとめさせ、ねらいに迫りたい。

4 本時の学習指導

(1) ねらい

「三つのいのち」について互いに意見を述べ合うことを通して、いのちの「有限性・連続性・偶然性」について考え、生命の尊さを深く理解し、かけがえのない生命を大切にしていこうとする態度を育てる。

(2) 展開

段階	学習活動 (○発問 ◎主発問)	教師の活動と手だて
導入	<p><u>1 本時の学習内容を確認する。</u> <u>「今ここにあるいのち」について考える。</u></p> <p>本時の学習課題</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>「三つのいのち」について考える</p> </div>	<p>・「今ここにあるいのち」については、前時までの2時間で考えていないので、「今、自分がここに生きていることの偶然性」の不思議について触れる。</p>
展開	<p><u>2 「三つのいのちについて考える」</u> <u>を読んで話し合う。</u></p> <p>○「奇跡の一週間」や「妹に」の授業、AさんからFさん6人の意見などを踏まえて、「三つのいのち」についての自分の意見を書く。</p> <p>◎各自が書いた意見をもとに、小グループで意見交換する。《まなボード》</p> <p><u>3 自分が気づいたことをまとめ、発表する。</u> ○教科書の6人の意見や、グループの友人との意見交換などを参考にして、自分が気づいたことをまとめる。</p>	<p>「三つのいのち」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いつか終わりがくるいのち」 ・「ずっとつながっているいのち」 ・「今ここにある私のいのち」 <p>・机間巡視しながら、参考になる意見を書きとめておく。</p> <p>・意見交換がスムーズに進まないグループへの支援を行う。</p> <p>・お互いの意見交流後に、改めて個人で考えることで、各自の具体的なことに思いを巡らせて考えさせたい。</p>
終末	<p><u>4 本時のまとめをする。</u> Aシートに、この教材を通して、学んだこと、考えたこと等を書き、シールを貼る。</p>	

(3) 評価

「三つのいのち」についてのさまざまな考え方を互いに共有し、有限性、連続性、偶然性についての理解を通して、生命の尊さについて考えを深めている。